

〈東京小諸会信条〉  
 本会は、東京都及其の周辺に在  
 住する小諸市出身者とその関係者  
 をもって組織し、会員相互の親睦  
 を厚くし、その向上と郷土の発展  
 並びに社会文化に貢献する。

# 東京小諸会々報

(題字・初代会長 小山邦太郎先生)

第19号

発行 平成7年11月18日  
 編集・発行 東京小諸会  
 〒105  
 東京都港区虎ノ門2丁目6番7号 和孝第10ビル  
 世界経済研究協会内 東京小諸会  
 電話 (03)3501-1321(代表)  
 FAX (03)3501-1420

## 東京小諸会平成七年度総会・大懇親会を迎えて

東京小諸会会長 菲 澤 嘉 雄

本日は、小諸市より塩川市長、森住市議会議長、香坂商工会議所会頭はじめ有力な方々が多数、極度にお忙しい中を、遠路はるばるお越し下さり、まことに有難うござい  
 ます。また、会員の皆様には、万障御繰合せ御出席下さり、感謝に堪えません。席下より、経済評論の大御所、三鬼陽之助先生、小林忠司長野真議員、伊藤新太郎・稲崎正信・石川隆東京清川会副会長は、本会のため特に貴重なお時間をわざわざ下さり、厚く御礼申し上げます。

三鬼先生は、東京小諸会にはほとんど毎回御出席下さり、お馴染みですが、藤村を七十年來敬慕しておられます。先生は今年、米壽を迎えられました。まことにめでたく、心からお祝い申し上げます。先生は今年お大變にお元気で、雑誌『財界』に毎月「三鬼陽之助の経営評論」六十余年の舞台裏」を執筆しておられます。この十一月二十一

日号で連載一〇九回になりました。三鬼先生のように影響力のある方が、藤村の御縁で小諸に愛情を注いで下さいますことは、小諸市と東京小諸会にとつてどんなに心強いかわかりません。

さて、塩川市長の別項の御寄稿により、小諸市は、十一月七日に待望の上信越自動車道小諸インターが開通し、高速交通時代を迎えることができました。嬉しい限りです。これでご小諸から東京練馬まで二時間で着くことになりました。これを祝って、十一月二十三日には、小諸の「歴史・文化」と「食」の二つを軸に小諸を売り出そうと、多彩なイベントを繰りひろげる「信州小諸フードまつり」が行われます。東京小諸会会員の皆様も、都合がつかましたら御参加されるようおすすめていた

ます。この小諸インターは、小諸新聞によりますと、総事業費四百九十三億円、一キロ当たり平均四十五億六千万円、一

メートル当たり四百五十六万円かかったということです。大事業でして、開通まで待つてくるについては、塩川市長はじめ関係者の大変なご努力があったことと拝察いたし、心から敬意を表します。

この開通は、小諸の発展に大きく寄与すると思われ、ただ観光については、通過するだけの車が多くなっただけというところになったので大変です。すでに開館している「寅さん会館」のほか、「大手門公園」や小諸駅東西自由通路の建設、「小諸藝塾の建物」や「小諸宿本陣主屋」の「美術館」の建設、藤村の新しい「借物の歌」の歌碑建立など進められつつありますが、心強いことですが、何とかして観光客が小諸駅から懐古園へ直行してしまっただけではなく、相生町、荒町、本町からさらに小諸市内全域を歩き廻るような観光名所づくりがでないものでしょうか。す

## 東京小諸会平成七年度総会・大懇親会に当たり

小諸市長 塩 川 忠 己

朝夕ひとさわ冷え込むが、この頃でございませうが、会員の皆様には益々ご健勝で活躍のこととお喜び申し上げますと共に、日頃は郷里小諸市に対し、特段のご支援ご協力を賜わり心から御礼申し上げます。

小諸市も市政施行以来四十一周年を迎え、十一月七日には待望の上信越自動車道小諸インターが開通し、今まさに高速交通時代を迎えることができました。新たな決意をもって来たるべき二十一世紀に向かい、「文化の香り高い、高原に育む活力ある詩情公園都市小諸」を目指してまいります。存ぞいませう。

さて、年明け早々未曾有の犠牲者を出した阪神淡路大震災、そして地下鉄サリン事件と世界各国にも大きな衝撃を与え、日本経済もバブル崩壊以降長期低迷を、まだまだ

だ景気の先行きが不透明であります。しかしながら、行政面では、国の積極的支援施策により、多くの課題事業を進展させることができました。主な事業の進捗状況についてお知らせし、ご理解を頂きたいと存じます。

小諸インター開通は、市民の期待も大きく開通前の十月十日には開通記念イベントを開催し、クォーターマラソン(十キロ)、歩行者天国歩き大会(八キロ)に家族連れで約六千人の参加をされた。開通後は車でしか走れない高速道路で、さわやかな秋の一日を過ごして頂き、小諸インター開通連絡協議会より、小諸の「歴史・文化」「食」の二つを軸に小諸を売り出そうと、多彩なイベントを繰り広げる「信州小諸フードまつり」も計画されており

諸川左岸広域農道(小千曲)の県内最大の橋梁である千曲川架橋、「小諸大橋」も昨秋完成し、耳取から御牧ヶ原台地の一部(四キロ)供用開始がされました。一四一号線バイパスの先線、一八号線からサンライン(グリーンロード)までの間も一部供用が開始され、平成九年全線開通に向け工事が進んでおります。また、宮沢トンネルも貫通し、今年度中には供用開始を予定しております。さらに小諸インターから御牧ヶ原台地への幹線道路として進めております千曲川架橋「布引大橋」も橋脚工事に着手いたしました。

小諸駅東西自由通路は今年一日に橋桁がかり姿を現し、まじりました。完成すれば懐古園等の観光地と市街地、商店街が利便性の向上により、生活での地域振興・活性化

に小諸の識者の方々はその面に力を入れておられますが、さらに衆知を集めて小諸市全域を観光名所にするのが望まれます。

ともあれ、ふるさと小諸市が、塩川市長の卓越した御統率のもとに、小諸インターの開通を跳躍台として、来るべき二十一世紀に向かって、「文化の香り高い、高原に育む活力ある詩情公園都市」を目標として一段と躍進されることを願ってやみません。

なお、小諸市日中交付協会代表団は十月に南京、北京などを訪問されましたが、私も昨年引続き、王武龍南京市共産党書記のご招待で今年九月に南京と上海に行つて参りました。藤村の研究者、陳徳文南京大学教授には、スケジュールの関係で再会できなかったのは残念でしたが、雷さん(名古屋大学大学院生)と陳雷さん(拓殖大学生)がお見えになっておられます。お二人とも日本語がとてお上手です。ので、いろいろお話し下さい。

御来賓、会員の皆様、きょうは、総会の議事と塩川市長の小諸の近況についてのお話

のあと、懐かしい小諸に思いを馳せつつ、ふるさとのお酒とワインを飲み、昔と今と明日の小諸を語り合い、小諸についての歌を唱い、福引を引いて、秋の一日を存分に楽しく過ごして下さいませ。べつに特別の余興はございませんが、ご出席の皆様同様に、お唱いになるなどされて、飛び切り楽しい会にして頂きたいと思

化等、相乗効果が図れることを信じます。

歴史的遺産を包括した一連の整備計画では、「小諸大手門」を中心として、総事業費十二億円をかけ都市緑化事業として進めておりました大手門公園も姿を現してまいりました。「小諸藝塾建物」についても懐古園三之門隣に移転復元が済み一般公開するべく準備を進めております。また、明治十一年佐久市鳴瀬の寺院、桃源院に移築された小諸宿「本陣主屋」(おもや)が桃源院のご厚意により、七月六日当市に寄贈頂きました。本年度中に駅北側駐車場に移築、復元するべく進めております。

諸区裏手の飯綱山も都市公園として計画決定されました。また、地元地権者のご協力を得るが、順次進めており、市民の要望の大きい美術館については、この公園内に建設するべく、たまたま基本設計中です。

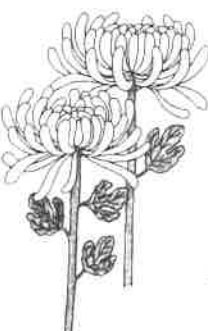
テクノハイランド構想の一環として、御牧ヶ原台地に県営大規模工業団地、四十四ハ

まくさ」内に、また「特別養護老人ホーム」ビラこもろ」および「小諸市デイサービスセンター」ビラこもろ」が滝原に開設となりました。これによって大幅な在宅支援体制の強化や、施設でのサービス向上ができることを確信いたします。

そのほか、地元音楽を愛する皆様から要望された「小諸高校の音楽科」も四月から開校されました。

第三セクター運営の「渥美清こもろ寅さん会館」と同会館に併設して建設を進めてきた「小諸市やすらぎ会館」も、郷土博物館隣に六月十日渥美清さん、山田洋次監督が駆けつけ六月十日オープンし全国の寅さんファンが訪れております。

以上、主な事業についてご報告申し上げます。小諸インターが開通しましたので、時には小諸市にお帰りになり、諸事業の進捗状況等をご覧頂き、ご高説賜れば幸いです。最後に、会員の皆様のご健勝でのご活躍と東京小諸会のご発展を心からご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



- 総会・大懇親会次第
1. 開会
  2. 「信濃の国」斉唱
  3. 会長あいさつ
  4. 物故者への黙禱
  5. 議事
  6. 会務報告
  7. 会計報告
  8. 会計監査報告
  9. 役員改選
  10. その他
  11. 来賓紹介・祝辞
  12. 大懇親会
  13. 鏡開き
  14. 乾杯
  15. 閉会
  16. 閉会の辞

## 平成6年度決算報告書

自平成6年1月1日～至平成6年12月31日

(単位 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	959,890	総会関係支出	1,362,205
年会費	112,000	小諸市市制40周年寄附	200,000
総会費	612,000	東京清川会寄附	30,000
総会御祝儀	465,000	役員会関係通信費	31,970
雑収入	15,707	繰越金	540,422
計	2,164,597	計	2,164,597

上記の通り会計決算を報告します。

平成7年9月28日

会計理事 木内 丈明  
 〃 鈴木 裕子  
 〃 鈴木 佳代子  
 幹事 土屋 正人  
 〃 吉 沢 正人

以上の報告を監査したところいづれも正確であることを証明します。  
 平成7年10月4日

